

和歌山縣報

第九百二十一號

明治四十二年十月二十七日

○告示

○和歌山縣告示第三百四十四號

明治四十二年十一月十五日ヲ以テ通常縣會ヲ招集ス

明治四十二年十月二十七日

和歌山縣知事

川上親晴

○和歌山縣告示第三百四十五號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日、和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

明治四十二年十月二十七日

和歌山縣知事

川上親晴

海草郡加太町大字加太千三百九十八番地

奈良縣平民

第七〇四號

明治十四年十一月生

中谷ウノ

○和歌山縣告示第三百四十六號

左記ノ通定置漁業ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登録ス

明治四十二年十月二十七日

和歌山縣知事

川上

親晴

免許年月日

明治四十二年十月二十五日

免許番號

八貳〇

漁業ノ種類及名稱

釣籠類 鮎 瀬張網

漁場ノ位置

古座川筋東牟婁郡明神村大字立合字島戸ノ川中ニ在ル浮子掛岩頂点ヨリ百六十七

度二十九間ノ点ト百三十九度三十九間ノ点トヲ連結セル線内

漁獲物ノ種類

鮎

漁業時期

毎年九月一日ヨリ十一月三十日迄

免許期間

五箇年

條件又ハ制限

一、木石類ヲ以テ支柱ト爲スヘカラス

二、舟筏ノ通航上障害トナラサル様設備スヘシ

三、河川流幅五分ノ一以上ノ魚道ヲ開通スヘシ

四、漁期終了シタルトキハ一週間以内ニ建設物ヲ撤去スヘシ

漁業權者代表者

東牟婁郡明神村大字立合

寺本善平

免許年月日 明治四十二年十月二十五日

免許番號 八貳壹

漁業ノ種類及名稱 魴築類鮎瀬張網

漁場ノ位置 古座川筋東牟婁郡明神村大字立合字下新ノ瀬菰岩頂点ヨリ三百五十度四十四間半

ノ点ト三百十八度三十三間ノ点トヲ連結セル線内

漁獲物ノ種類 鮎

漁業時期 毎年九月一日ヨリ十一月三十日迄

免許期間 五箇年

條件又ハ制限 一、木石類ヲ以テ支柱ト爲スヘカラス

二、舟筏ノ通航上障害トナラサル様設備スヘシ

三、河川流幅五分ノ一以上ノ魚道ヲ開通スヘシ

四、漁期終了シタルトキハ一週間以内ニ建設物ヲ撤去スヘシ

漁業權者代表者

東牟婁郡明神村大字立合

橋本市太郎

○和歌山縣告示第三百四十七號

明治四十三年度吳鎮守府管内ニ於テ徵募セラルヘキ海軍志願兵員數左ノ通定メラル志願ノ者ハ來
十二月十日マテニ願書ヲ所轄都市役所及町村役場ヲ經テ當廳ニ差出スヘシ

但シ出願シ得ヘキ者ノ資格願書ノ記載方等ハ最寄郡市役所又ハ町村役場ニ就キ承合スヘシ

明治四十二年十月二十七日

和歌山縣知事 川上親晴

海軍志願兵 徵募區	所管	兵種	水兵	軍樂生	木工	機關兵	看護	主厨	計
	鎮守府		四六一	一〇	七	二三九	九	三三二	七五八
第 二	吳鎮守府								

○ 辞 令

○明治四十二年十月二十二日

五級上俸給與

願ニ依リ職務ヲ免ス

土木工手 岡崎吉三郎

○ 彙 報

○叙位 正八位川村六郎、上田長藏、堀口滿貞、齋藤守園ハ本月二十日孰レモ從七位ニ叙セラレダリ

○觀象

自十月廿二日至十月廿四日氣象

(和歌山測候所觀測)

種目	前		年		前		年		前		年	
	十月廿二日	年	本	年	十月廿三日	年	本	年	十月廿四日	年	本	年
平均氣壓	七六二耗〇		七六二耗六		七六三耗一		七六二耗五		七六六耗〇		七六七耗七	
平均氣溫	一九度二		一三度一		一七度六		一四度三		一六度九		一二度四	
最高氣溫	二四度三		一九度四		二三度九		一九度三		二二度八		二〇度五	
最低氣溫	一四度九		八度九		一二度六		八度八		一二度〇		六度一	
最多風向	北東		北東		北		北々東		北		北	
平均風力	四米三		二米七		二米六		三米七		二米三		三米三	
天氣	晴		曇後雨		晴		半晴		晴後曇		晴	
降水量			二耗八				一耗一					
記事現象	曉間南方ニ電光		午後降雨				曉間降雨夜間月環ヲ映ス					

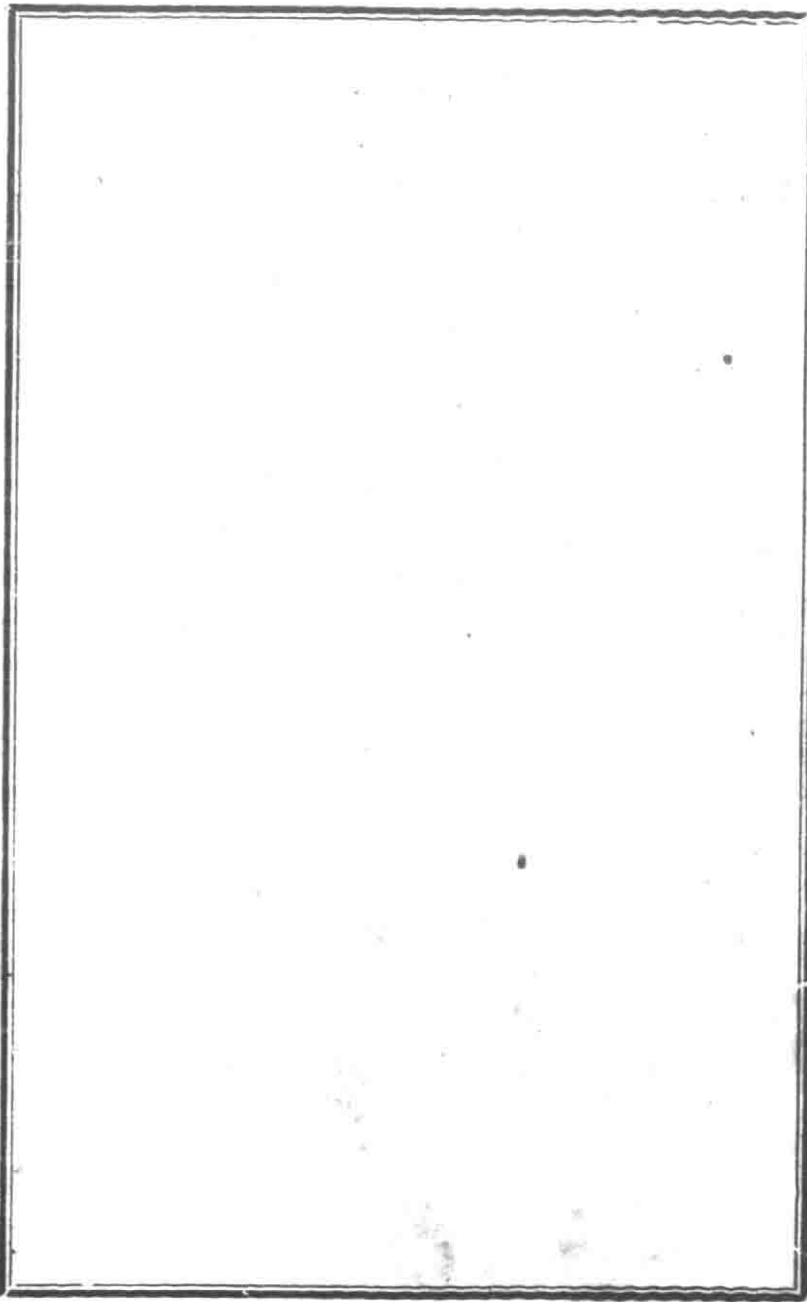
和歌山縣報

第九二一號

明治四十二年十月二十七日

(第三種新聞紙認可)

六



明治四十二年十月二十八日印刷
明治四十二年十月二十七日發行
每月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行

和歌山縣知事官房

和歌山南北休實町六番地
和歌山南北休實町六番地
和歌山南北休實町六番地

七